

vol. 2314

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 第503回中央委員会
- 2024年高教組旗開き
- 「ゆるゆる歩き、ゆるゆる語り合う」
～「大分西部支部主催 秋のウォーキング&交流会」報告～

第503回 中央委員会

とき：12月9日(土)

ところ：教育会館 多目的ホール

第503回中央委員会を開催し、定期大会以後のとりくみの総括とこれからの運動方針を協議しました。

■ 委員長挨拶 (要旨) ■

第503回中央委員会の開催にあたって、執行委員会を代表してごあいさつ申し上げます。今年度から中央委員会を年1回開催とし、6月の定期大会と12月の中央委員会と半年に一度、組織の運動方針を討議し意識統一することとしました。

さて、喫緊の課題として2点申し上げます。

まず、反戦平和のとりくみです。ウクライナやパレスチナの戦闘が、即時停戦を求める声に反して継続する中、日本も軍事力強化に向けて動いています。県内でも、日出生台での

日米共同軍事演習、大分空港への航空自衛隊機の離発着訓練、そして、大分市敷戸の弾薬庫建設問題。これまで、わたしたちの反戦平和のとりくみは、第二次大戦中の平和学習であったり、沖縄の基地問題や広島長崎の原水禁運動など、日出生台の演習反対を除けば、昔の話であったり、他県の話であったように思います。しかし、今年に入ってからの動きは、大分県に暮らす私たちの生活に、戦争の影が忍び寄ってきていることを感じさせます。私の自宅は敷戸の弾薬庫に近い団地ですが、地域ではほとんど話題に上がることはありません。私たちは、まず地元から反戦平和の声を上げなければなりません。

次に、学校職場の超勤縮減に向けてのとりくみです。今年、日教組では、組織の最優先課題としてとりくみをすすめており、各県の教組も連動して集会や街宣などを行っています。高教組では、県教組と合同で11月23日に大分駅での街宣、教育会館での集会を開催しました。2019年に給特法が改正されましたが、学校現場には超勤縮減に向けた職場環境改善の実感はありません。自民党特命委員会は、教職調整額の増額でお茶を濁そうとしています。私たちが求めるものはお金ではありません。「定時で帰れる職場」です。もちろん、学校のあり方からすれば職員の勤務終了時刻に生徒も下校させ、職場を閉鎖することはできません。私たちの運動の方向性は、勤務時間の厳守を基本としながら超勤にはきちんと手当を出させることにあり、実現のためには、現行の給特法の廃止もしくは抜本的見直しが必要です。

それでは、限られた時間ではありますが参加の皆さんの、職場実態を中心に据えた真摯な討論を期待して、執行委員会を代表してのあいさつといたします。

■ 質疑 ■

◎第4号議案

◇法定外控除について

大分工業：A口座が「-」の場合、引き落としができないのか？

〔回答〕 これまでは給与口座に入る前に控除されていたが、来年度からは、給与口座に振り込まれてから引き落とされるようになるため、残高不足とならないように注意が必要。保険については解約につながるおそれがある。

■ 意見・討論 ■

大分商業：定数増についての提案がないが、入れた方が良いのではないか。

津久見：通勤手当について。大分市内から津久見への通勤で、僅かな距離差で高速道路利用できる、できないの差があり、不公平感がある。通勤時間の短縮を交渉で要求してほしい。

宇佐支援：高校生平和大使について。高校生一万人署名などの活動報告を計画している。現在、情報科学高校の生徒5名が頑張っている。学校間のつながりを強めて、他校からも協力してもらいたい。

宇佐支援：宇高支部では、レクリエーション補助制度を活用して未組織者も含めて、知覧への平和学習ツアーを計画している。制度を活用すべき。

大分商業：日出生台演習に関する具体的なとりくみを行った方が良いのではないかと。

■ 本部見解 ■

- 定数増 ▶ とりくみは行っており、今後も当然、行っていく。整理して議案に入れていく。
- 通勤手当 ▶ 具体的事例を集めて交渉したいと思うので、引き続き、全県下の状態を教えてください。
- 高校生平和大使 ▶ 平和大使の活動は高教組としても、しっかり支援していきたい。各学校に案内等が届けられているので、周知してほしい。
- レクリエーション補助 ▶ 制度を活用する企画を是非とも行ってほしい。
- 日出生台演習への反対行動は行っているが、入稿時期の関係で議案には掲載できていない。活動報告は随時、行ってきたい。その他、議案に入っていない活動があれば教えてください。

討論の後、採決が行われ、第1号～第4号の議案は、全て賛成多数で承認されました。その後、第5号議案「当面のとりくみ」が提案され、今後の具体的なとりくみを確認しました。最後に、大野委員長による団結がんばろうで締めくくりました。

議長：渡邊 淳さん（日出支援）
（左から）黒野昌子さん（久住高原農業）

議事運営委員：安部真人さん（大分雄城台）
（左から）高橋輝彦さん（佐伯豊南）
大鶴浩二さん（大分鶴崎）

2024年高教組旗開き

とき：1月6日（土）

ところ：教育会館 201研修室

新しい年を迎え、多くの来賓の方々、高教組支部・単組・専門部の代表者等の出席のもと「2024年大分県高教組新春旗開き」を開催しました。大野真二委員長が、これからのとりくみに対する決意を表した後、出席者の方々からは、高教組運動への期待や励ましの声をいただきました。高教組の果たすべき役割と責任をあらためて確認する会となりました。

〈ご挨拶いただいた来賓の方々〉

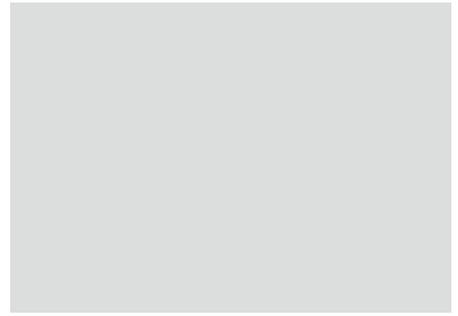
《来賓一覧》

則松 佳子 様（日教組特別中央執行委員、日本労働組合総連合会副事務局長）
石本 健二 様（日本労働組合総連合会大分県連合会会長）
佐藤 俊生 様（大分県平和運動センター事務局長）
滝口元二郎 様（大分県労働者福祉協議会専務理事）
吉川 元 様（衆議院議員）
吉良 州司 様（衆議院議員）
吉田 忠智 様（立憲民主党大分県総支部連合会代表）
久原 和弘 様（社会民主党大分県連合代表）
高野 博幸 様（大分市議会議員）
須賀 要子 様（中津市議会議員）
宗安 勝敏 様（大分県教育会館理事長）
岡部 勝也 様（大分県教職員組合執行委員長）
溝口慎一郎 様（自治労大分県本部執行委員長）

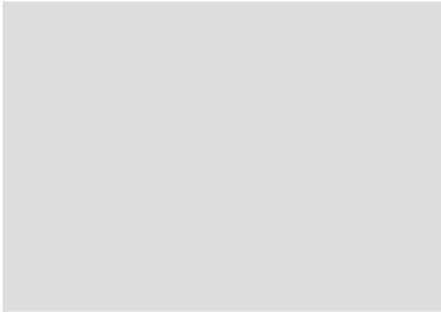
石本健二 連合大分会長

佐藤俊生 平和センター事務局長

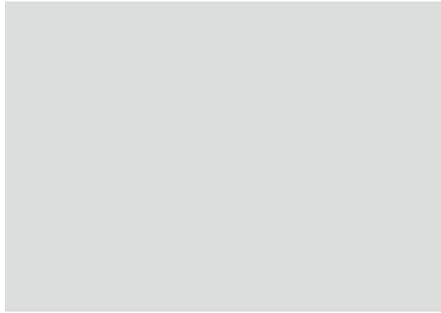
- 那賀 久資 様 (自治労大分県職員連合労働組合執行委員長)
- 藤田 一樹 様 (大分県人権・部落差別解消教育研究協議会会長)
- 松本 佳浩 様 (九州労働金庫大分県本部副本部長)
- 松本 章 様 (部落解放同日大分県連合会書記次長)
- 白 一秀 様 (在日本朝鮮人総联合会大分県本部委員長)
- 内田 淳一 様 (大分県高等学校教職員組合OB会会長)
- 梶原 悟 様 (大分県高等学校退職教職員協議会会長)
- 横道 信哉 様 (教職員共済生活協同組合大分県事業所所長)
- 瀬尾 彰一 様 (大分県高等学校生活協同組合専務理事)



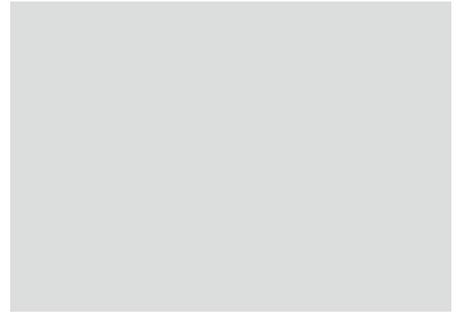
滝口元二郎 労福協専務理事



吉川元 衆議院議員



吉良州司 衆議院議員



則松佳子 特別執行委員

「ゆるゆる歩き、ゆるゆる語り合う」

～「大分西部支部主催 秋のウォーキング&交流会」報告～

とき：11月18日(土)

大分西部支部では、「秋のウォーキング大会&交流会」と銘打って、昼と夕の2部構成で実施しました。

昼の部では「ゆるゆると歩く」をコンセプトに、秋空の下、植田地区の豊かな自然の中を歩きました。小さな神社にお参りしたり、高瀬石仏を拝観したり、七瀬川公園で案山子の迷路にチャレンジしたり、途中、カフェにも立ち寄り、心地よい空間でティータイムを楽しみました。ウォーキングを終え、解散する



頃には、小旅行を共にした仲間のような気分になっていました。

夕の部は、「日の高いうちから飲み、ゆるゆると語り合う」をコンセプトに16時にスタートしました。明るいうちからお酒を飲む贅沢さに、参加者一同、ワクワクの表情でした。おいしいお酒と肴を共に仲間と語り合う楽しさを満喫して、締めで大分西部支部の益々の発展を祈念し

て18時に散会。日頃の忙しさから解放される豊かなひとときでした。昼の部に続いて、夕の部でもゆるやかにつながり、仲間と交流できることの良さを感じました。

今回のウォーキング大会は大分西部支部にとって初めての支部体育大会となりました。実施できてよかったです。みなさん、おつかれさまでした。

(新生支援 小池加寿子)

